

2013年度 追手門学院大手前中・高等学校 学校関係者評価・報告書

<学校関係者評価委員会>

委員会は学院評議員・PTA会長・PTA代表・本校卒業生から各お一人ずつ、計4名の方で構成されています。

項目	関係者委員会の意見
○進学指導について	○教科指導については学びの側からの視点での指導の工夫・検討を望む。学力と言う視点だけでなく、大手前の生徒たちに合った大手前スタンダード、テストの在り方、評価の在り方の検討も必要ではないか。内部進学者の場合、高校受験の経験が無いこともあり、精神的な面を強化する取り組みが必要であるように思う。
○募集について	○昨年度まで、近年、中学入試においては男子生徒対女子生徒の割合が2：1程度であったが、今回は1：1となった要因の一つは制服のリニューアルにあると思える。中学入試においては、児童数も減少する中で厳しいと思うが、学校が一丸となって取り組んでいただきたい。卒業生や保護者にもしっかり呼びかけていただくことも大切と思う。
○生徒指導について	○全体的には、生徒は落ち着いていると聞いている。問題事象もいくつもあったとのことだが、何事にもめりはりが大切、決められたことは徹底して教職員が統一した指導をしっかりと行っていただきたい。また、事後のケアについてもしっかりとお願いしたい。
○学校評価アンケート結果について	○総合学園としての連携については、全体的に低いものとなっているが、学院の特色を生かした連携を望む。今後改善策についてしっかり検討をお願いしたい。進路指導についても系統的な取り組みをお願いしたい。
○その他、総合意見	○今年度、制服が新しくなったことは私達卒業生にとっては大きな出来事である。できるものなら式典ではこれまでの制服を着るとかもお考えいただければと思ったりもする。新たな本校のスタートに相応しい教育の充実をお願いしたい。